

## デュッセルドルフ日本人学校 校歌

一

日本の空と ドイツの空を  
結ぶ光の 朝あけに  
希望にあふれて はばたくわれら  
ラインのかおりに 心も清し  
おお デュッセルドルフ 日本人学校

二

日本の土と ドイツの土を  
ふみしめながら 湧き出<sup>い</sup>ずる  
あらたなねがいを ひめたるわれら  
ラインのほとりに 雄々しくたてり  
おお デュッセルドルフ 日本人学校

三

日本の友と ドイツの友を  
つなぐ歌声 高らかに  
あかるく世界に のびゆくわれら  
ラインの流れに 自由に生きる  
おお デュッセルドルフ 日本人学校

作詞 中村瑞枝  
作曲 杉谷昭子

学校のホームページからデュッセルドルフ日本人学校の校歌を聞いてみよう  
<https://www.jisd.de> (学校案内→本校について)



小学部  
ライン河畔での遠足

ライン河  
日独友好  
そして未来へ

デュッセルドルフ市は、ドイツ西部に位置するノルトライン・ヴェストファーレン州の州都です。ライン河の両岸をまたぐように広がる街には、日本企業のみならず世界中の企業が拠点を置き、国際商業都市として発展しています。

この市の閑静な住宅街にある本校は、一九七一年に欧州で二番目の日本人学校として誕生し、一昨年に創立五十周年を迎えました。現在、四〇〇人ほどの児童生徒が学んでいます。教育目標は「豊かな心を持ち、国際感覚を身につけ、学び続ける子どもの育成」で、小・

中併設のよさを生かした学び合い、ドイツの姉妹校との交流活動、地元のかしへの参加、施設見学などを積極的に行っています。

本校校歌の歌詞は三番まであり、健康的で希望に燃えた軽やかな口語定型詩となっています。音楽は明るくリズムカルで子どもたちに親しみや

すい曲です。作曲はピアニストの杉谷昭子氏、歌詞は中村瑞枝氏。一番から三番まで日独の天地人を踏まえ、父なるライン河を背景に下記の詩が歌われます。

一番 ラインのかおりに心も清し  
(希望と清心)  
二番 ラインのほとりに雄々しく  
たてり(大願と雄魂)  
三番 ラインの流れに自由に生きる(明朗と自由)

校歌は本校に在籍した者にとつて、ドイツ在住の大切な思い出の一つとなっています。YouTubeにも本校に在籍したピアニストが校歌を掲載したり、ドイツの思い出場面のBGMとして公開したりしています。また本校卒業生同士の結婚式で日本人学校の仲間といっしょに歌われたこともあるそうです。

本校の同窓会支部が東京にありますが、世代を超えた同窓会で校歌斉唱は重要なプログラムとなっています。同窓生にとって幼年時代や青春時代の多感な時期にドイツで、そしてデュッセルドルフ日本人学校で過ごした時間はかけがえのないものです。校歌は人生の大切な一部を担っているのです。